

みのりだより



報連相の練習方法って？

どんぐり

どんぐりでは、施設内・外での作業を通し、報連相の練習を行っています。

例えば、施設内作業の一つである箱の組み立ては精度が求められる為、シワや破れなどの不良を作ってしまった場合、すぐに報告をしてもらいます。

作業の進め方・判断に迷った時は、必ず職員に相談をしてから取り組むよう声掛けをしています。

施設外作業での報告は、職員を通してではなく施設外先の担当者への作業報告を直接、利用者自身に行ってもらう事があります。利用者間でも内容に変更があった場合はお互いに伝え合うなど、職員以外との業務連絡の仕方が学べるような機会づくりを意識しています。



Labo

報告のタイミングや方法は一人ひとりに合わせて設定することが多いです。報告タイミングが掴みにくい方には定時報告方法、集中力の維持に課題がある方は3工程ごとに報告する方法など。その方の得意不得意を伸ばしたり改善するためにさまざまな方法を試します。外注作業では、報告・連絡するときの伝え方や言葉選び、タイミングなど、誰が誰に伝えても誤解が生まれずスムーズに作業できるように統一してもらうなど、場面に合わせて適した報連相の仕方をお伝えし日々の作業を通して実践しています。報連相で「どのように伝えればいいのか？」と悩む方が多いので、内容のまとめ方や発信の仕方・タイミング、発信先などを学べるようにワークシートを活用して、報連相スキルアップを目指しています。



元今泉

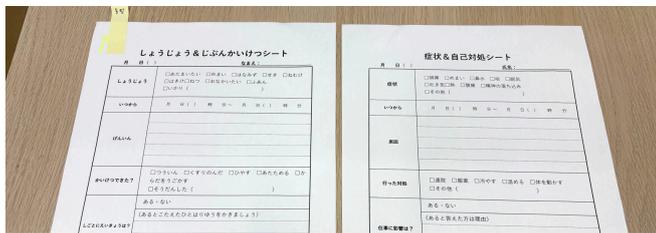
元今泉は外注作業が多い為、実践的に報連相の練習ができます。

ポスティング作業前には配布エリアの確認・注意事項や前回との変更点との確認を利用者と職員で行います。帰所後、投函チェック役の利用者が進捗状況と変更点を職員へ報告します。

飲食店の開店前清掃は、職員が設定したA型利用者5~6人グループを3組作り日替わりで清掃担当をします。(グループ配置は一か月固定)

“開店前清掃ファイル”という引継ぎファイルに、当番の利用者が連絡事項を記入。全体朝礼とは別に、5分間のグループ朝礼時間に連絡事項を共有する流れになっています。

誰が聞いても伝わるように要点を抑えること、適切な相手に適切なタイミングで発信する練習ができます。また、対職員への報告だけに慣れないよう、様々な人と報連相する場面が作れるような仕組みになっています。



キッズスクール今泉の活動



10月



- 【運動・感覚】長縄、輪投げ、サーキット、風船バスケット
- 【健康・生活】おやつ買い物、屋食買い物、指先訓練
- 【人間関係・社会性】避難訓練、公園、外出、ハロウィン ※一部抜粋

comment

子供たちは元気いっぱい、夏祭りにブルーベリー狩り、新生姜ミュージアムなど、楽しい思い出がたくさん出来ました。